

	非常災害時の相互の応援に関する規約	防災組織に関する規約（案）	備 考
目的（趣旨）	第１条 この規約は、川崎市老人福祉施設事業協会の会員たる施設（以下「会員施設」という。）が被災した際、当該施設の要請に応じ、会員施設が協力して応援することについて必要な事項を定め、もって会員施設の運営の継続及び利用者の安全の確保を図ることを目的とする。	第１条 この規約は、非常災害時の相互の応援に関する規約（令和４年５月１７日第１０３回理事会承認。以下「相互応援規約」という。）第４条第１項に規定する班その他の防災に関する組織について定めるものとする。	「相互応援」は、非常災害により施設の運営の継続が困難になった際に、他の施設が人的・物的支援や利用者受入れ等の応援を行うことにより、地域のレベルで「業務継続」を図るもの
定義	第２条 この規約において、次の各号に掲げる用語の意味は、それぞれ、当該各号に定めるところによる。	第２条 この規約において使用する用語は、相互応援規約において使用する用語の例による。	
	(１) 非常災害 暴風、竜巻、豪雨、洪水、崖崩れ、高潮、地震、津波その他の異常な自然現象に起因する災害又は火災その他の人為的災害をいう。		
	(２) 被災施設 非常災害により施設の運営を継続することが困難になった会員施設をいう。		
防災責任者	第３条 会員施設は、相互の応援を円滑に行うため、防災及び非常災害に関する責任者（以下「防災責任者」という。）を置くものとする。		
	２ 防災責任者は、防災及び非常災害に関する連絡調整及び情報の共有に努めなければならない。		
防災組織 (班の編成)	第４条 会員施設は、別に定めるところにより、地域を単位とする防災組織として班を編成するものとする。		
		第３条 班は、区（川崎市区の設置並びに区の事務所の位置、名称、所管区域及び事務分掌を定める条例（昭和４６年川崎市条例第３８号）第２条の規定により設置された区をいう。以下同じ。）の地域を単位として編成するものとする。	防災責任者全体会議(令和４年７月２８日)の決議内容を条文化したもの
		２ 班の名称は、次の各号に掲げる区の地域の単位に応じ、それぞれ当該各号に定めるところによる。	
		(１) 川崎区 川崎班	

(班の所掌事務)

	(2) 幸区 幸班	
	(3) 中原区 中原班	
	(4) 高津区 高津班	
	(5) 宮前区 宮前班	
	(6) 多摩区 多摩班	
	(7) 麻生区 麻生班	
	第4条 班は、次の事務を所掌する。	(1)から(4)の事務は「班の防災及び非常災害」に関する事務の具体的な内容を、その重要度や優先度を考慮して特出しし、列挙したもの
	(1) 班内訓練を企画し、その実施を推進すること。	
	(2) 合同訓練その他の訓練の実施に関すること。	
	(3) 班内の相互応援及び他地域との相互応援に関すること。	
	(4) 行政その他の関係機関との連絡調整に関すること。	
	(5) その他班の防災及び非常災害に関すること。	
2	班には班長を1名、副長を1名以上置くものとする。	
3	班長は、班を代表し、その班務を統括する。	
(班会議)	第5条 班長は、班が所掌する事務について班内の防災責任者で協議するため、必要に応じて班会議を開催することができる。	
	2 班会議に座長を置き、班長をもつて充てる。	
	3 班会議は、班内の防災責任者の過半数の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。	
	4 班会議の議事は、出席した防災責任者の過半数をもって決し、可否同数のときは、座長の決するところによる。	
4	副長は、班長を補佐し、班長に事故があるとき、又は班長が欠けたときは、その職務を代行する。	
5	班長及び副長は、班を構成する会員施設の防災責任者の互選により選任する。	
6	班長及び副長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。	

<補欠の班長等の任期> 相互応援規約 改正案	7 補欠の班長及び副長の任期は、前任者の残任期間とする。【改正案（この項を追加）】		「防災組織に関する規約」で班長を構成員とする「防災班長会議」が設置されるため、各班長の任期を揃えるための規定を追加
相互応援	第5条 会員施設は、被災施設から施設の運営を継続するために必要な人的、物的な支援、処遇が困難となった入居者の一時的な受入れなど、応援の要請を受けた場合は、可能な限りその要請に応えるよう努めるものとする。		
防災訓練	第6条 会員施設は、別に定めるところにより、班内訓練、合同訓練その他の訓練を実施するものとする。		
防災班長会議の設置		第6条 非常災害時の相互の応援その他会員施設の防災力強化に関する取組を推進するため、防災班長会議を置く。	防災力強化の取組を推進するための組織体として「防災班長会議」を設置
防災班長会議の所掌事務		第7条 防災班長会議は、次の事務を所掌する。	(1)から(4)の事務は「防災及び非常災害」に関する事務の具体的な内容を、その重要度や優先度を考慮して特出しし、列挙したもの
		(1)合同訓練を企画し、その実施を推進すること。	
		(2)地域間における相互の応援その他地域間の連携に関すること。	
		(3)防災及び非常災害に関する研修の実施及び先進事例等の調査に関すること。	
		(4)行政その他の関係機関との連絡調整に関すること。	
		(5)その他防災及び非常災害に関すること。	
		2 防災班長会議は、その所掌する事務に関し、規程を定めることができる。	規程は、第10条で委任された権限(細目を決定する権限)の範囲内で定めることができる。
防災班長会議の組織		第8条 防災班長会議は、各班の班長をもって組織し、議長を1名、副議長を1名以上置くものとする。	
		2 議長は、防災班長会議を代表し、その会務を統括する。	

		3 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を代行する。	
		4 議長及び副議長は、班長の互選により選任する。	
		5 議長及び副議長の任期は、当該議長及び副議長の班長としての任期の終期までとする。ただし、再任を妨げない。	
防災班長会議の議事		第9条 防災班長会議は班長の過半数の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。	
		2 防災班長会議の議事は、出席した班長の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。	
その他（委任）	第7条 この規約を施行するために必要な事項及びこの規約に定めのない事項は、理事会で決定する。	第10条 相互応援規約に基づく訓練その他の相互応援に関する事項並びに班及び防災班長会議に関する事項の細目は、防災班長会議で決定する。	相互応援に関する事項並びに班及び防災班長会議に関する事項の細目を決定する権限を防災班長会議に委任するもの
施行期日	この規約は、令和4年7月1日から施行する。	1 この規約は、令和 年 月 日から施行する。	
経過措置		2 この規約の施行の際現に区の地域において、防災責任者の互選により班長及び副長が選任されている場合は、この規約第3条第1項に規定する地域を単位とする班において選任されたものとみなす。	「防災責任者全体会議」の際の「班別会議」において正副班長を選任した手続の効力をを追認するもの
		3 前項に規定する班長及び副長の任期は、相互応援規約第4条第6項本文の規定にかかわらず、令和5年3月31日までとする。	「班別会議」において、災害プロジェクト委員全員が班長又は副長に選任された結果を踏まえた経過措置。今回就任していただいた班長・副長の任期を災害プロジェクト委員の任期に合わせるため、令和5年3月31日までとするもの